

# 第12回まちづくり講演会

# 私たちの ごみ問題を 考える



じつは、群馬県は家庭から出る一人1日当たりのごみの量が全国最多。もちろん前橋も全国市の中で最多クラスです。ごみの収集、焼却、埋め立てには税金が使われ、さらに温室効果ガスも発生します。自治体は様々な政策によって住民の方々に自発的なごみ減量をお願いしていますが、課題が多いのも事実。どうすればごみ減量への機運は高まり、ごみの少ないまちづくりが進むのでしょうか。参加者の皆さんと一緒に考えたいと思います。

令和7年

# 2月20日(木)

14:30~16:00 (開場14:00)

前橋プラザ元気21 3階  
前橋市中央公民館 ホール  
前橋市本町二丁目12番1号

定員 100名(予定) **参加費無料**

※事前申込みが必要です。詳しくは下記お問い合わせ先へ電話してください。  
※動画配信はありません。会場での開催となります。

主催：公益財団法人前橋市まちづくり公社  
後援：前橋市



講師

齊藤 由倫 氏

高崎経済大学  
地域政策学部 准教授

### プロフィール

2006年3月 東京農工大学農学部 卒業 (農学学士)  
2006年4月 群馬県衛生環境研究所 研究員 (2024年3月まで)  
2023年4月 高崎経済大学大学院地域政策研究科 博士後期課程 修了 (地域政策学博士)

2024年4月 高崎経済大学地域政策学部 准教授  
専門は環境社会学。とくに、資源ごみも含めた家庭から出る生活系ごみの減量化を目指して、普及啓発施策の効果検証に関する研究を行っている。そのほか、近年注目されている「社会情動的スキル\*」の向上を目的とした効果的な環境教育のあり方も研究中。

\*コミュニケーション力や意欲、忍耐力など、数値での測定が難しい能力のことで「非認知能力」と同義。Well-Being (幸福) との関連が示唆されている。「認知能力」は計算力や語学力といった学力テストなどで測れる能力。

### 主な著作物

「生活系ごみ減量化のための自治体による住民への自発的アプローチに関する研究」齊藤由倫 (高崎経済大学, 2023)  
「A Closer Look at Effective Intervention Methods to Reduce Household Solid Waste Generation in Japan」齊藤由倫ほか (Sustainability, 2022)



お問い合わせ先



都市再生推進法人  
公益財団法人前橋市まちづくり公社  
TEL.027-289-5565

前橋市中央公民館駐車場ご案内

①元気21駐車場 (前橋プラザ元気21北側) ②市営パーク5番街 ③市営パーク千代田 ④広瀬川サンプーキング ⑤前橋中央駐車場 駐車券をお持ちの方は、3階前橋市中央公民館の受付カウンターで駐車券を機械に通すと駐車料金が①は4時間無料、②③④⑤は5時間無料になります。  
※駐車券を処理するときは、受付窓口で職員にお声がけください。

## 第12回まちづくり講演会 参加申込書

申込期限

令和7年2月14日(金)

F A X

太枠内に必要事項を記入のうえ、027-289-5564まで送信してください。

Eメール

メールアドレス：machinaka@maebashi-cc.or.jp

メール本文に以下の必要事項を記入のうえ、件名を「第12回まちづくり講演会」として送信してください。

住 所	〒
電話番号	
メールアドレス	
(ふりがな) 団 体 名	
(ふりがな) お 名 前	

※本申込書にご記入いただいた個人情報は、本講演会に関する連絡のほか、当会社からの情報提供のために利用することがあります。

※テレビ等の取材が入る場合があります。

※動画配信はありません。

お申し込み・お問い合わせ先

公益財団法人前橋市まちづくり公社まちづくり推進課 〒371-0022 前橋市千代田町二丁目8番12号

TEL：027-289-5565 FAX：027-289-5564